

【開講日】令和5年5月31日（水）

文学

0501010

古典逍遙『源氏物語』「明石」を読む

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	『新潮日本古典集成 源氏物語二（新装版）』新潮社 2,530円				
講座概要	曜日	水曜日		日 程 5月31日 6月7・28日 7月12・26日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講 師	元本学教授 深澤 邦弘 （ふかざわ くにひろ）				
	早稲田大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程修了、文学修士。 都立三鷹高等学校、立川高等学校、昭和高等学校教諭 2006年3月武蔵野大学文学部教授退職。 専攻は中世文学・国語教育。著書に『平家物語における「生」』新典社研究叢書170、 『青桐—もの一詞いはん—』編著 新典社（2014年4月）など。				
内 容	吾子を源氏にと明石入道は固執する。源氏の「とかくまぎらはして、こち参らせよ」の誘いにも姫本人は「さらに思ひ」たゞず、上洛してもやがて人数にも加えられず必ず「いみじきもの思ひ」の身を悩むこととなる。今は長年の住吉祈願の験と喜ぶ親たちも「いかなる嘆きをかせむと思ひ」やり、受領出身の身故の行く末の不安を払拭しきれない。 「明石」一巻は「…思ふ心ことなり」と自ら受領の身となって京を退去した貴族がこの婚姻を機として京における一族一門の再興を期する一家族の物語である。 語り手は人間にとって、己れの存在・個人・生命という根源的な課題を「来し方、行く末」「今」という時間の中に置いて提示しつづける。				
	① 5月31日：「明石」を読む ② 6月7日：「明石」を読む ③ 6月28日：「明石」を読む ④ 7月12日：「明石」を読む ⑤ 7月26日：「明石」を読了				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

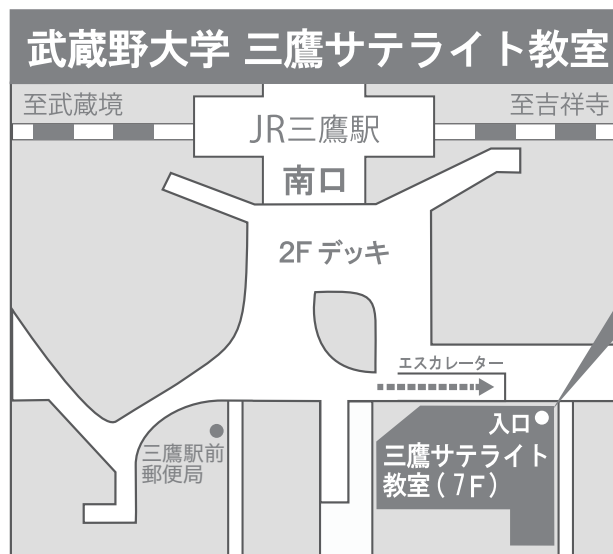


武蔵野大学社会響創センター
〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20
TEL：042-468-3222
月～金（祝祭日除く）9：30～16：30
エルエルエス
[http:// lls .musashino-u.ac.jp/](http://lls.musashino-u.ac.jp/)

武蔵野大学 生涯学習

検索

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。